

会議録

会議の名称	西東京市図書館協議会平成25年度第1回定例会
開催日時	平成25年5月23日（木曜日）午後3時00分から5時00分まで
開催場所	中央図書館2階会議室
出席者	委員：山田委員、山本委員、倉内委員、川口委員、鈴木委員、小西委員、足立委員 事務局：奈良館長、中村副館長、吉野庶務係長
議題	1 委嘱状交付 2 正・副会長の選出 3 図書館事業の概要について 4 事業評価について 5 その他
会議資料の名称	資料1 平成23年度西東京市図書館事業概要 資料2 平成25年度西東京市図書館協議会開催日時 資料3 平成25年度西東京市図書館協議会委員名簿 資料4 西東京市図書館だより 第49号 資料5 西東京市教育計画策定のためのアンケート調査報告書 資料6 西東京市教育計画策定のためのアンケート調査報告書（概要版）
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 発言者の発言内容ごとの要点記録 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>○館長：</p> <p>定刻になりましたので、図書館協議会を始めさせていただきます。2年間どうぞよろしく願いいたします。日程に沿って進行させていただきます。委嘱状についてはお手元にお届けいたしております。</p> <p>本日は、今期第1回の定例会で、委員初顔合わせとなりますので、自己紹介をお願いしたいと思います。</p> <p>（出席委員自己紹介）</p> <p>館長：</p> <p>どうもありがとうございました。</p> <p>続いて、正・副会長の選出についてお願いしたいのですが、自薦、他薦構いませんのでどなたかいらっしゃらないでしょうか。立候補なさる方がいないようでしたら、前任の小西委員、鈴木委員に会長、副会長をお願いしたいと思います。</p>	

委員：
異議なし。

館長：
異議なしということで、会長に小西委員を、副会長には鈴木委員を決定させていただきます。正・副会長が決まったところで、本日のこれからの議事進行は会長にお任せしますので、よろしくをお願いします。

会長：
それでは、平成25年度西東京市図書館第1回定例会を議事に沿って進めます。「第3図書館事業の概要について」館長から説明をお願いします。

館長：
初めて図書館協議会委員になった方もいらっしゃるので、図書館事業の概要について説明いたします。

平成13年1月に合併し、平成14年3月にシステムを統一してからサービスを大きく変えました。

1. インターネットによる申し込みは、全国的にみても早い時期に開始しました。
2. 予約棚、貸出、返却の自動化を行った結果、130万冊だった貸出数が約248万冊に、また、予約数は約9万9千件だったものが、71万9,521件になりました。利用者自身が予約できるようになったことが大きく変わった点です。
3. 登録者数については、1年間に1回以上使った方をカウントしています。55,507人となっています。

市外登録者は保谷駅前図書館で練馬区、ひばりが丘図書館で東久留米市が際立って多いというのが特徴です。

現在の課題は、ひばりが丘図書館の新座市民の利用ということです。4 貸出方法では自動貸出機の利用が増えています。

現在、15万から20万人の市の中では貸出数、予約数は全国一位です。

会長：
ただいまの説明について、何か質問等はありませんでしょうか。

委員：
第2期西東京市子ども読書活動推進計画の貸出数に対する影響はあるのでしょうか。

館長：
小学校への団体貸出数は多いです。書架から好きな本を選べることや、配達や回収の配送車を図書館が出すことで借りやすくしています。

会長：
学校連携では、成功している例だと思います。

委員：

学校にはない新しい本があるというのが大きい理由だと思います。

学級単位で借りることにより、自分たちで借りた本だという意識が生じます。色々な面で学級文庫は大盛況でした。

○館長：

西東京市教育計画策定のためのアンケート調査報告書（概要版）をご覧ください。

西東京市の学習環境という項目があり、「図書館が利用しやすい」という意見が約4割と最も多くなっています。

○委員：

図書館の使い方として借りるだけではなく、教育の場としての視点も必要ではないかと思います。

館長：

学校等で行われている事業については支援を行っていく必要があります。

また、現在の問題として、資料の保管スペースが少ないことです。

会長：

図書館にスペースがあれば、本の処分が少なくなります。

昔は本を借りたら家に持ち帰えるという形であったのが、今はそうではないです。

館長：

今は、雑誌、新聞を読みたいという人が大変増えていますので、閲覧するスペースが必要となっています。

委員：

図書費の額及び1人当たりの書籍、全国平均5冊より少ないが、理由をお伺いしたいと思います。

館長：

図書費は約5千9百万円です。雑誌新聞で約1千万円です。

会長：

一人当たりの蔵書数ですが、これは廃棄しているからであって10年間廃棄しなければ5冊という数字になっていると思います。

保存する場所があれば一人当たりの蔵書数は上がります。

委員：

嘱託員方式についてお伺いしたいと思います。

館長：

西東京市行財政改革は第1次、第2次、現在第3次が行われています。

この中で図書館事業の見直しもあり、運営形態についてはこの中で言われています。

第1次は、民間委託を考える、第2次では指定管理者も含め考えるというものです。

第3次においてはシステムや人員配置等を変えたうえでの図書館運営、その中には委託や指定管理も含まれています。

また、その間、「図書館事業の見直し」ということで平成19年度に協議会に提言を求めています。これをもとに10年計画を作成しました。

また、前は「電子書籍」について提言を求めました。先ほどの人事の件ですが、直営が望ましいと思いますが、現実には難しい点があると思います。

○会長：

西東京市は、29名の職員と嘱託員は48名で現在職務を行っています。

西東京市の場合には司書資格を持っている方が7割を超えています。

嘱託職員は、仕事も正規の仕事を割り振って行っています。

次に、事業評価について説明していただきたいと思います。

副館長：

平成21年度事業評価を平成22年度に行いました。

昨年度は平成23年度事業評価を行いました。お手元にお配りした事業概要をご覧ください。

年度事業計画に沿って第一次事業評価を行います。

それは図書館側が評価します。次にその内容を第二次評価として協議会委員に評価していただきます。その後、市民に公表します。

昨年、協議会の評価項目が17項目あり多いという意見がありました。

今年度はもう少し精査してコンパクトなものにしようかと考えております。

現在24年度の第一次評価を作成して協議会の皆様に送付いたしますので、第2回目以降にスケジュールを組んでいただき、第二次評価を行っていただきたいと思いません。

○会長：

図書館側から事業評価について説明いただきました。

今年度の事業評価を送付する際に、昨年の事業評価を添付してください。

議論が進めやすくなると思います。

昨年度までは内容が細かかったので、図書館に対する知識が相当ないと評価する方も難しいものがありました。

○館長：

各事業の項目を1つか2つに絞ることは行いました。

○会長：

今年は17項目に対し少しずつ、コメントが付けてあるということです。

それを第一次評価として、次回の協議会までに皆様に送付いたしますので、よろし

くお願いいたします。

開催日時の確認ですが、よろしいでしょうか。

○委員：

異議なし。

○会長：

今回は7月18日になりますので、よろしくお願いいたします。

○委員：

提案ですが、4月25日に中央教育審議会から教育振興基本計画第2期が出されました。その中に公共図書館と学校図書館で子供の読書推進について連携を推進していくということがありました。

子どもの読書推進を積極的に進めていく必要があると思うのですが。

○会長：

協議会の中で、今年1年の間で、議論を行っていけばよいのではないのでしょうか。今も十分行っているが、さらに西東京市図書館として、どのように子ども読書について考えていけばよいか議論を行っていくということでもよろしいのではないのでしょうか。

○館長：

子ども読書について、中間報告書を作ります。意見を出していただければ反映できる点もあるかと思えます。

○会長：

それでは、時間になりましたので、本日の会議は終了します。皆様、どうもありがとうございました。